

衣笠山きぬがさやま

〔等持院領にして後山なり、又西に至つては龍安寺領なり。古人衣笠岡を詠ずる事多し〕

続古今 音に聞衣笠岡をまだ見ねば待つゝぞふる雨の宮には

読 人 知 ら ず

家百首 雨ふれどもえのみまさる早蕨さわらびや衣笠岡のしるしなるらん

為 盛

名 寄 墨染のきぬがき山の夕けぶり立のぼるにも袖はぬれけり

為 秀